

校長室だより

後期リスタートにあたって、一己を顧めともに夢拓く「視点から講話を行いました。具体的には、「ともに終わりを意識した生活をしよう」
三年生いよいよあと五ヶ月で中学校を卒業する。どんな姿、人となつて菊陽中を旅立つのか意識しよう。友だちとも進路によつては会えなくなる。悔いが残らない人間関係を創ろう。
一・二年生、あと6ヶ月で今のクラスも終わる。2年生は最上級生となり、一年生は先輩と呼ばれるようになる。どんな最上級生・先輩になりたいのかイメージしよう。今のクラスや学年・部活の人間関係を観つめ直し、来年度に繋げよう。
という話をしました。
実は、昨年の夏、私(校長)は、八月三十日(台風通過の夜)に父を亡くしました。昨日まで元気だったのに突然、台風とともに逝つてしましました。それからというもの、「終わり」というものを意識するようになります。

貴重な時間なのか、時間かいかに傍はかなしくながります。ながながなものなのか、しみじみと今、父を亡くし感じています。人には、それぞれ寿命があります。しかし、その寿命は誰にも分かりません。ただ「終わり」があることは確かです。その「終わり」を意識することでもつと一日一日を、そして一時間一時間を大切にできる自分と出会える気がします。生徒の皆さんには、「今、隣のなかまがどんな思いで登校し、学校生活を過ごしているのか」：「そのことをしつかり観つめ、お互いの関係性の見直し、「ともに」一日一日を大切に過ごしてくされることを願つてやみません。過ぎ去った時間は、戻つてきません。また、「夢拓く」ために「そもそも夢つてなんだ」と問いました。「お金持ちになりたい」も立派な夢だ。ただ「お金持ちになつて、そのお金をどう使うのか」

「令和七年度、後期リストアート」

令和7年度 折り返しました。

十月十日には前期終業式を終え、五日間の秋休みをはさみ、そして一六日に後期始業式が行われ、学校が再開しました。前期を振り返ると、登校日が一〇二日（一年生は一日）あり、その中で多くの行事が行われました。体育大会、菊池郡市や県の中学校総合体育大会、合唱コンクール、一年生はこれらに加えて集団宿泊教室内も行われました。前期・後期のそれぞれ式の中では生徒意見発表がありました。そこには行事が通じて、目標に向かうたために見通しを持つて過程を

進めることが学級・学年集団と協働することの大変さを学生徒の姿が見られました。また、前期に行われた二回の定期テストを通して、日頃の授業を大事にすることや家庭学習を習慣化し、充実させることが等を後期の課題に挙げました。生徒たちが見られました。これらの意気込みを意識して、そして継続して過ごすことが、日々の成長につながっていくことでしょう。菊陽中生皆さん、期待しています。

後期の主な行事予定

十二月	
二、三日	・県・町学力・学習
六日	・状況調査(一、二年)
二四日	・町人権子ども集会
二四日	・後期前半終了
一月	
八日	・後期後半開始
九、十日	・実力テスト
二十八	・三十日・修学旅行
二月	
十八	・二十九日・期末テスト
三月	
七日	・卒業式
二十四日	・修了式
	(九日振替休業日)

十月九日にはティマニア「内合唱コンクールを開きました。当日は多くの保護者の方々に鑑賞していただきました。」とございました。

審査員の赤星様より、「どの学級も一生懸命な表情とハーモニーが見られ、合唱コンクールを通して仲間同士が繋がる。」と講評をいただきました。

その意義がしつかりできていたことで今回は大成功の合唱コンクールでした。」と講評をいただきました。

とともに深めた学級の繋がりを、後期にさらに飛躍していくことを期待しています。

そのために使うのか、世のため人のために使うのか、親孝行の夢の先にある具体的な事柄があると夢拓く意欲を問いました。自分のためだけに使うのか、親孝行のため使うのか、世のため人のために使うのか、親孝行の夢の先にある具体的な事柄があると夢拓く意欲は、大きく変わるのはないか、という話をしました。そのためには、二十四時間をデザインすることや、やりたくないことでもやらなければならぬことがありました。

まずは家庭学習をしつかりやろうとまとめました。後期リスタートです。ご家庭でも声かけをよろしくお願いします。

夢奏の校内合唱二三ヶ月



学校HP、絶賛更新中
菊陽中学校HP 菊陽中
学校HP 菊陽中学校HP
学校HP 菊陽中

普段の学校生活や行事等の様子を菊陽中学校ホームページにアップしています。スマホ等からは上のQRコードを読み取ってアクセスしてください。